上越市立柿崎中学校だより　令和5年 11 月 20 日発行

第７号

せいしゅんふたたびきたらず

青春不再来

柿崎区法音寺 392-1 TEL:536-2496 http://www.kakizaki-j.jorne.ed.jp/

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。
「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

感動の歌声を心の糧に　→「学力向上」へシフト

校長　大塚　啓

11 月も下旬となりました。つかの間の秋、これからの晴れの日は貴重ですね。雪囲いやタイヤ交換など、冬支度を早めに済ませなくてはと思うこの頃です。

さて、10 月下旬には合唱コンクールを実施しました。歌う態度や表情に一生懸命さが感じられ、生徒会や学級のリーダーを中心とした取組の成果が十分に表れたと思っています。見に来られた皆さんからも、「いい歌を聴かせてもらった」「中学生の歌声はたくましいですね」という言葉をいただきました。生徒が、自分たちのよさを思い切り表現する姿を披露できてよかったなと思いました。

さて、これからは各学年とも学力向上に一層力を入れるシーズンです。先日の全校集会では、次のような話をしました。

・・・・皆さんの前期のアンケート結果では「学校が楽しい」「授業が分かる」と考えている人が 90%から 100%近くで驚きました。一方家庭学習は、「2 時間以上取り組んでいる」人が学級に 5 人くらいしかいません。誰だって、授業だけで学力をちゃんと身に付けることは難しいです。授業で学んだことを家でも反復練習して、学んだことが末永く頭に残っていくように学ぶことが大切です。宿題を出されなければ家で学習しないという考え方ではいけません。

家での学習習慣を軌道に乗せることは将来の幸せにもつながってきます。将来、何かの仕事に就いたとき、仕事上の自分の課題を意識して、その解決のために自ら全力で取り組むことが職業人としての責任です。その責任を果たしながら、仕事の道で世の中に貢献していくのです。君たちは今、その基礎を学んでいると思ってください。「健康な身体づくり」、「人間的で豊かな心づくり」、そして「学力向上」。とりわけ、自ら取り組む家庭学習を重視しましょう。それが軌道に乗っていけば、分かることが一層増えるでしょう。問題を解いたときに○が増える。心にゆとりも生まれます。褒められることも多くなるでしょう。将来の選択肢も増え、人生の道も明るく開ける。気持ちを切り替えよう。自らのやる気を引き出して家庭学習に熱中する自分の姿を実現しようではないか。・・・・

感動の歌声を心の糧にし、自ら学力を高めることに気持ちを向けてほしいと願っています。これからも柿中生への応援をよろしくお願いします。

１０／２７ 令和５年度合唱コンクール

～響かせよう 感動のハーモニー～

平日にもかかわらず、150 名を超える保護者、地域の方からお集まりいただき、生徒の歌声を聴いていただきました。

参加した地域の方からは、「各学年の雰囲気が表現されていて、どの合唱もよかった」といった感想をいただきました。審査員として来校いただいた上教大附属中の那須先生からも「3 年続けての審査ですが、柿崎中の生徒は声量や勢いが出ていて本当に素晴らしい」との講評をいただきました。

１年生学年合唱

２年生学年合唱

３年生学年合唱

芸術の秋～美術部の取組～

美術部では、１年生は合唱コンクールのＰＲポスターを、２年生は各クラスが選曲した合唱曲から想像される絵を作成しました。美術部生徒は、校舎に響く歌声を思い出し、時に自分のクラスの合唱曲を口ずさみながら、工夫を重ねて作成しました。

美術部の個性的な作品

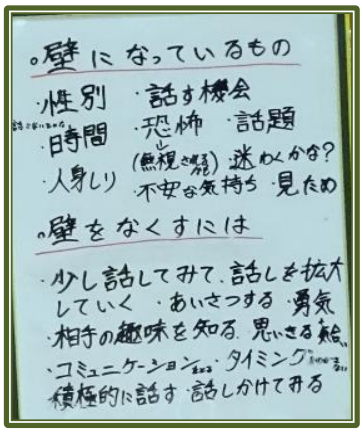
11/10 ハッピー仲間集会の開催
～小中で連携し、柿崎の子どもの豊かな心を育むために～

毎年恒例のハッピー仲間集会。今年は小学６年生と中学校の全校生徒で集会を行いました。

開会式では山賀生徒会長が「いじめがなぜ起きてしまうのかを一人ひとりがよく考え、明日の学校が楽しみと全員が思えるように、いじめの認識を深める時間にしましょう」と述べました。緊張気味の面持ちの小学生と、動画視聴後、意見をホワイトボードにまとめ、発表するなどして交流を図りました。

閉会で青少年育成会議会長の山川 春男 様はステージ脇に掲示されている「いじめ防止５か条」にある「いじめとじゃれ合いの境界線」の難しさとその大切さについて、ご自身の経験にふれながら、お話いただきました。

中学生がリードし、意見交流



人間関係のなかにある「見えない壁」に関するグループの意見

10/31 １年生が SDGs ディを実施

１年生は SDGs デイを実施しました。本来、10 月５日（木）に全校生徒で行う予定でしたが、荒天により中止となったため、１年生単独で実施しました。

今年で 3 回目となる漂流物の回収活動が新聞記事に紹介されました。活動のねらい等も紹介されていますのでご覧ください。

漂着物から環境学ぶ

地元海岸で調査・回収

柿崎中１年生

柿崎区の柿崎中（大塚啓校長）の1年生（66人）はこのほど、同区の海岸で漂着物の調査・回収を行った。「SDGsデイ」と題し、ごみを拾い、種類別に分類する作業を通して、身近な地域から世界的な環境問題を考え、意識を高める狙い。同校は県の「小学校・中学校への地域の環境学習等支援事業」の指定を受け、総合学習で環境を学んでいる。昨年度に環境委員会を設立、活動3年目の今年は1年生が柿崎中央海岸、柿崎漁港、三ツ屋浜海岸の3カ所に分かれ、ごみを集めた。活動はアメリカのNGO団体「オーシャン・コンサーバンシー」の呼びかけで行われている「国際海岸クリーンアップ（ICC）」の活動の一環。拾ったごみは品目ごとに分類、一般社団法人JEAN（ジーン）が用意している「ごみ調査・データカード」に記入した。結果は後日集計、報告する。柿崎中のSDGs委員長、松野那由多君（1年）は「自然の豊かさを実感し、大人になった時にきれいな環境を保てるように。海岸の奥側の方にごみが多い。みんなに伝えていきたい」と話した。

ごみを拾い、種類別に分類

上越タイムス
11 月 7 日（月）

～ お 知 ら せ ～

◆ 第２回学校運営協議会のご報告

第 2 回学校運営協議会は、10 月 27 日（金）、合唱コンクールの後に行いました。都合のつく方には午前中の合唱コンクールからご参加いただき、給食も食べていただきました。生徒と同じ時を過ごし、同じものを食べていただき、中学校生活を肌で感じていただいた上で、中学校の前期学校評価の結果を踏まえて協議を行いました。委員の皆様からいただいた主な意見は以下のとおりです。

○「授業が楽しい」肯定 88%、「学校が楽しい」92%「差別をしない、させない、負けない気持ちをもつ」97%という数値をみると、良い学校だということが分かる。
○部活動について部活動指導員の他に、地域の外部指導者など教員以外の人が指導するということで心配していたが、生徒が楽しんでやっている様子がうかがえて、安心した。今後、部活動の機会を減らさないでいただければと思う。
○合唱は立派だった。3 年生は発表の時にはやるときはやるぞという姿で貫禄があった。学力向上については、先生方から「なぜ、勉強をする必要があるのか」についても伝えてほしい。生徒が自分自身はどうしたらいいか考えるようになればよいと感じる。
○合唱の様子を見て、賑やかな状態から開始２分前にさっと静かになって切り替えがすごいと感心した。集団生活がしっかりできている証拠だと思う。
○年々、生徒が自主的に教育活動に取り組んでいる場面が多くなってきたと思う。合唱コンクールも運営する生徒の代表は、自信をもって取り組んでいた。様々な体験が生徒を成長させていると思った。このような積み重ねが学力向上につながるのではないか。
○「学校が楽しい」「授業は楽しい」と回答する生徒が多数いるのだが、学力向上に結び付かないのはなぜなのか不思議です。
○時代夏祭りをはじめ、柿崎の地域行事に中学生が顔を出してくれると盛り上がる。ぜひ、これからも中学生のエネルギーを貸してほしいです。

◆ ダンス発表会のお知らせ

11 月から全学年の体育授業でダンスに取り組んでいます。指導者に W.P エンターテイメントダンススクールの渡辺翔太さんをお招きし、学年に応じたダンスを丁寧に教えていただいています。

生徒は、タブレット PC で自分たちの動作を撮影、確認し、仲間とコミュニケーションを図りながら、動きのイメージを共有するなど、表現する楽しさを存分に味わっています。

生徒によるダンスの成果は１２月２１日（木）３・４時間目（10:35～12 :05）に実施するダンス発表会でお披露目となります。

キレッキレの中学生のダンスをぜひ、ご覧ください。